

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和2年3月2日(金)午後0時 08 分～午後0時 15 分(9階 904 会議室)

○出席委員(8名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行
委 員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 行政視察のまとめについて
- (2) その他

午後 0 時08分 開 議

(二階堂武文委員長) それでは、経済民生常任委員会を再開いたします。

ここからは、少しだけ所管事務調査についてお話をさせていただければと思います。

前回の委員会で、所管事務調査の今後の進め方について皆様から様々なご意見を頂戴しておりました。調査の今後のスケジュール感については今後協議させていただきたいと思いますが、まず初めに行政視察のまとめについてです。こちらについても前回の委員会で皆様より様々なご意見を頂きました。それらも踏まえ、正副委員長で再度協議を行い、修正を加えましたので、A 4 資料で経済民生常任委員会行政視察のまとめ修正版と書かれた資料を、今お配りしたものを御覧ください。

太字、下線表記している箇所を変更させていただきましたが、まず 1、意見開陳も踏まえた各行政視察先でのポイントの直してあるところが恵那市、(3)の①の部分になります。読み上げます。半分、青い。は、平成30年4月2日からの放映だが、ドラマ内容を事前には把握できず、具体的なアクションプラン策定は5月末となり、対応が後手に回った。臨時駐車場の整備が7月、観光物産所設置

が6月、その後に好評を博した青いプリンも6月からの登場と、出遅れ感があったが、恵那市としては大きく売上げを伸ばすことができたという部分になります。という形で修正をさせていただきました。

次に、2番の委員会のまとめになります。こちらについては、①、②、③とありますが、全面的に修正をさせていただきました。①、岡崎市、恵那市での聴取では、NHKの朝ドラ放映の効果が改めて大きいものであることを確認できた。この放映のチャンスを生かすには、NHK側への積極的なアプローチと情報収集とともに、早めの具体的なアクションプランの策定と、特にお土産商品の商品開発や駐車場整備などの事前準備体制の構築が急がれることを再確認できた。

②、浜松市、岡崎市での聴取では、音楽や文化を根づかせるには長期的な取組が必要である。そのためにも次の世代を担う子供たちや若い世代への浸透に向けた継続的な取組と人材育成がポイントで、今後、展示の見直しを含めた古関裕而記念館の活用も必須であることを確認できた。

③、浜松市での知見であるが、本委員会の所管事務調査の目的である古関裕而氏を生かしたまちづくりを通して、将来に向けてどんなまちになりたいのかを明確にしていくためにも、長期的な視点に立つ文化振興ビジョンのようなものに古関裕而氏に関する今後の取組の方向性を位置づけ、行政と市民が一体となって取り組んでいく必要があることを確認できたということになります。

修正箇所は、前回委員の皆様からあったご意見で、お土産売場や商品開発、駐車場整備を課題とするご発言があったかと思います。それらの意見を取り入れさせていただきながら、改めてまとめに反映させていただいたところでございます。

改めて、このような形で行政視察をまとめさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) ありがとうございます。

それでは、そのようにまとめさせていただきます。

次に、3月の中間報告ということについてです。

こちらについても改めてこの間、正副委員長で何度も協議を行ってまいりました。しかしながら、やはり時期を考慮しても、これからまとめを行い、報告を行うことは物理的に非常に難しいと考えます。

また、当局に再度確認したところ、前回の委員会でも申し上げましたが、駐車場の確保、お土産商品開発、お土産売場の確保については、他の自治体の事例なども参考に、早期の受入れ体制整備に向けて準備を進めているとのことでありました。特に駐車場の確保については、競馬場や県文化センターなど近隣施設との協議を進め、確保に向けて動いているとの話もあったところであり、当局としても取り組むべき課題として分かっている、調整している最中の事案であります。

こういった状況の中で、駐車場確保やお土産売場についてのより詳細な進捗状況やそれに対する意見は、これから始まる3月定例会議の商工観光部や市民・文化スポーツ部の予算審議の中の分科会質

疑で、次年度の古関裕而氏関連の事業やエール放映に向けた取組の関連予算が多々提出されておりますことから、ここで当局に確認し、進めていってはどうかと考えているところです。

そこで議論した上で、やはり当局の取組が全く進んでいない、課題があるとなれば、分科会長報告に要望を付すなどして、しっかりと意見を言うことで、所管事務調査で得た知見を踏まえ、詳細にチェックしているということを示すことができるかと考えております。

正副委員長としましては、3月の中間報告は困難と考えていますが、ただいまご説明した視点で、しっかりとエール放映中の取組を捉えて対応していきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、そのようにさせていただきますので、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。冒頭にも申し上げましたが、今後のスケジュール感については今後協議できればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ほかになれば、以上で経済民生常任委員会を閉会いたします。お時間のない中、ありがとうございました。

午後0時15分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文